

科目	化学	単位数	4	学年	2	学級	EI系 CD系	学科	普通科
----	----	-----	---	----	---	----	------------	----	-----

学習の到達目標	物質について学習することで化学的なものの見方を身に付け、物質の循環や自然界の調和といった視点から人生観や世界観を築いていく。
使用教科書 副教材等	化学(実教出版) 副教材:リードα 化学基礎+化学(数研出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	物質の状態と平衡	原子、分子、イオン、物質量など化学基礎の内容を復習しながら化学結合の学習を行う。
	5		気体の状態方程式を中心にして気体に関する各法則と気体の性質を学んでいく。 溶解度やコロイド溶液についても学びます。
	6	物質の変化と平衡	化学反応式、反応熱の復習をし、化学反応の速さのあらわし方や反応速度を変える要因について学習する。
	7		化学平衡の概念を学習したうえで、化学基礎で扱った酸塩基の反応をより理論的に学習し直します。また、平衡状態における法則性についても学習します。
9			
後期	10	無機物質	遷移元素の性質、単体の性質、化合物の性質についての学習 陽イオンの定性分析、沈殿物の種類についての学習
	11	有機化合物	有機化合物の元素分析、分子式の決定、異性体、構造式の決定について学習する。また、アルカン、シクロアルカン、アルケン、アルキンといった有機化合物の基礎となる化合物の構造、性質、反応について学習する。
	12		アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、などの構造、性質、反応について学習する
1	高分子化合物	糖類とタンパク質、の分類と特徴反応性などを学んでいく。 品化学につながる糖類、油脂、アミノ酸、タンパク質、生活で使っているプラスチックなどについて学んでいく。	
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度		授業への取り組み方、ノートの取り方、出席状況など
	思考・判断・表現		授業中の発言内容、実験レポートの内容など
	観察・実験の技能		観察実験時の集中力、器具の操作の仕方、実験レポートの内容など
	知識・理解		定期考査、小テスト、課題など
	評価方法		定期考査70% 小テスト、課題20% 授業への取り組み(出欠席、ノート、発言、観察実験)10%
担当教諭から			化学基礎の続きで理解しやすいと内容だと思います。副教材を活用して自主学習に取り組みましょう。